

個別的QOLリスト

A男

(1) 身体・健康

(1) - 1 口内炎はできていませんか？

口内炎ができると食欲が落ちるので気をつける。薬名：ケナログ口腔用（塗薬）
口内炎ができたときには、専用の漢方薬をすぐに服用する。（小西三誠堂033-262-5291）

(1) - 2 花粉症の対応はできていますか？

花粉症のひどい方です。鼻水や目が痒くなったりするので、目薬、点鼻薬は欠かせない方。服薬は眠気が強くなるので、朝1回位が望ましい。毎年症状が違うので、発症してから通院する。（3月、4月要注意）

(1) - 3 薬関係の把握はできていますか？

発作があるため、睡眠状態、薬関係には気をつけ、その都度医療相談等で指示を受ける。

<服薬内容>

<朝昼夕>

アレピアチン	100mg	3T	抗てんかん剤
デパゲンR	(朝・昼3、夕4)	10T	抗てんかん剤
エクセグラン	100mg	3T	抗てんかん剤
リボトリール	25mg (夕1)	1T	抗てんかん剤

(1) - 4 血液検査は計画的に行われていますか？

抗てんかん薬の血中濃度が正常な値にあるのか定期的に確認をし、異常がある時にはすぐに医療相談をする。

(1) - 5 汗かきのため、夏期は衣類が準備されていますか？

夏期は、ランニング、短パンで過ごしてもらおう。徐々に、半袖Tシャツ、長ズボンでもよくなってきている。

(2) 豊かな人間関係

(2) - 1 おもちゃはありますか？

皿、ブロック、飛行機のおもちゃ、車のおもちゃ、怪獣、ウルトラマンの人形、茶托、ビー玉、コインなどで一日遊んでいるので、揃えておく。皿やビデオの受け渡しをして遊んで欲しい時はコミュニケーションのキャッチボールだと思って康さんの気持ちをきちんと受け止める。

(2) - 2 本人の見たいビデオは準備されていますか？

水戸黄門、太陽にほえろ、ウルトラマン、仮面ライダー、相撲、高校野球等、本人の見たいビデオは必ずあるようにする。高校野球や大相撲のシーズンには、その都度録画し、同じ内容でもマンネリ化しないように配慮する。また、外出時には本人とレンタルビデオ屋に行き、選んできて本人用にダビングをすることもたまには必要。

(2) - 3 失便・便こねの対応に気をつけていますか？

嫌な時、怒っている時など便こねをすることがある。失便、便こねをした時にも、叱らず片付ける。失便、便こねには必ず理由があるのでそのことを考え言語化するようにする。

(2) - 4 実習生との係わり方を本人と相談していますか？

H17.3月に実習生を由香里さんに居室に独占され、発作になってからの支援方法。付き合いたいのは本人だけでないことを伝え、本人にどれ位の程度で、どの位の頻度で付き合えば良いか希望を聞く。最近では、自ら積極的に実習生の手を引いて居室まで案内するようになってきている。

(3) 待つことに値する楽しみ

(3) - 1 定期的に外食、買い物ドライブに行っていますか？

外食が好きで楽しみにしているため、月2回程度は行ってくる。帰省とのバランスを考えながら実施する。
好きな外食は、お寿司・とんかつ・ハンバーグ・丼物・揚げ物・ステーキ等。何をしたいか、何を食
べたいか等カードを使って話をして決める。買い物は、本人に選んでもらい、買い物してくる。アピ
タ、SATY、ハローマック、ダイソー。

(3) - 2 ドライブに行っていますか？

ドライブが好きなのでAMの日課の中で行う。
土日のドライブも一番に行くようにする。

(4) 主体性・自己選択・自己決定

(4) - 1 おやつは用意してありますか？

* H15より、カードではなく、現物で選択している
現在(H18年度)の選択肢はアンパン、クリームパン、柿の種、和菓子である。

(4) - 2 ご飯にふりかけがかかっていますか？

おかずを先に食べてご飯だけが残ってしまうのでふりかけをかけ、食べやすいようにする。また、キ
ャベツについても必ず調味料をかけておく。

(4) 3 缶コーヒーを用意できていますか？

1日1本缶コーヒーを朝食前に、居室で飲んでいる。温めるか冷たくするかは、時期によって本人に選
択してもらう。

(4) - 4 トイレの誘いを嫌がる時ももう一押ししていますか？(現在は必要なし)

トイレの誘いを嫌がることが多いが、本人の中では「お兄ちゃんになりたい」という願望もあるので、
嫌がってももうひと押ししてみる。職員にあっさり引き下がられると本人はかえってがっかりするこ
ともある。

(4) - 5 ビデオは用意されていますか？

ビデオをつけて欲しいという要求に答えられるようにビデオを用意しておく。本人の好きなビデオが
いつもついている状態にしておく。特に食事の後に消えてしまっているのでビデオがついているか確
認する。ビデオは押入れの中に保管し、専用のビデオカードを使い見たいものを決めてもらう。見る
ためのビデオ、遊ぶためのビデオは、肝心の時に紛失してしまい見ることができないことがあるため
明確に分けておくこと。
好きなビデオは、水戸黄門・野球・相撲・仮面ライダー・ウルトラマン・太陽にほえる等。

(4) 6 お皿類など本人の望む形で利用できるようになってはいますか？

お皿、お碗、ザル、ウルトラマンのゴム人形等大きなごに入れて居室にある。時々出しては並べて
いる。飛行機や車のおもちゃはいつでも本人が見、取れるように居室の棚に陳列している。
* 口に持っていったりして遊ぶため、帰省時などは特におもちゃの洗浄に心掛ける。

(4) - 7 家への電話はできていますか？

家庭にいるときに両親と話しているような環境を持つようにする。C勤は終礼後にカード(TEL、
ビデオ、寝る)を選んでもらう。要求があればお家にTELをする。別のカードを選んだときには、
無理にする必要は無いが、ほかのメンバーさんが帰省した日、面会があった日、自分の帰省が近いと
きなど、自分から「TELしたい」と言えない事もあるので『TELしてもいいんだよ』と声を掛けて
みる。

(4) - 9 外出は本人とカードで相談できていますか？

外出する2～3日前に、何をしたいか、何を食べたいか、どこに行きたいかを聞くようにする。お腹をポンポンしたり、カードを取ったり、視線でYESを伝える。NOは手を後ろに回したりそっぽを向いたりして教えてくれる。

(5) 適切なコミュニケーション手段

(5) - 1 部屋にある担任出勤ボードは掲示してありますか？

担任が出勤する日、外出の日、帰省の日など本人が気になる内容については、部屋のボードにて掲示（出勤、帰省）をし、分かりやすいようにする。

(5) - 2 ビデオを交換して欲しいときに待たせていませんか？

交換して欲しいときには、職員の手を引き、TVの前まで連れて行ってくれる。ビデオをつけるときには、ビデオについている写真を使って、本人の見たいビデオを選んでもらう。

(5) - 3 本人が今何をしたいか、カードを使い聞いていますか？

外出、就寝前など何をしたいかカードを使って聞く。本人の前に『これからどうしようか？』と声を掛け、選択してもらう。

(5) - 4 本人からのサインを見落としていませんか？

廊下をブラブラ歩いている時（職員の方を見ている時が多い）は、排泄に来てくれた時、声を掛けて欲しい時なので側に行き、「何かな？」と話しながら本人の要求に応える。

軽バンに乗っている 帰省など待ち遠しい、家のことを思い出している（ボードの確認をする）

手を後に組む

イヤ

耳をふさぐ

イヤ

大きな声を出す

お願い事があるが、わかってもらえない。

お腹を叩く

OK 欲しい おいしい

手を引く

ビデオをつけて欲しい、お願い事がある

てんかん発作

伝わらないことがあり、言いにくいこと

失尿、失便

伝わらないことがあり

物捨て

うらやましい、欲しいものがあるなどいろいろ理由があり、変化していくので常に気をつけて原因を考えていくようにする。

(5) - 5 本人専用のカレンダーは貼ってありますか？

次の帰省・行事・外出がいつあるについては、必ず居室の本人専用のカレンダーにシールを貼り、カレンダーを使ってお話しする。帰園してきた時に、父・母に次の予定を話してもらい、カレンダーにシールを貼って帰るようにしてもらう。

(5) - 6 排泄の失敗はありませんか？

依存したいと言った気持ち強い時は、一人で排便を任せておくと失敗しやすいので多めに声を掛けたり、本人が出ないと訴えても「もう少し座ってみるか」と言って本人を誉めて、排泄できるように促す。依存したい気持ちが強くない時は、一人で任せておいてもトイレに来られるため、来れた時はよく誉める。

また、本人の気持ちを汲み取ってもらえない時に何日も連続で失敗が続く事があるので、原因を追究する。

(6) 与えられた役割と適正な評価

(6) - 1 教室プログラム檜のブロック落としの作業をしていますか？

檜の袋詰め作業に参加し、その際には無理の無い誘い方をします。

(6) - 2 作業ができた時の評価はできていますか？

作業に来てくれたり、少しでも自分からできた時はしっかり誉める。作業終了時にはスタンプを押し、カードがいっぱいになったら一緒にコーヒーを買いに行く。

(7) 家庭とのつながり

(7) - 1 月二回の帰省はできていますか？

夏・冬・春休みは必ず帰省ができています。月二回の帰省も家庭の都合が悪くない限り帰省できています。家の事が気になったり、寂しくなったりすると食欲が落ちたりする。次の帰省の日付は必ず本人のカレンダーにシールを貼り、話をする。また帰園の際も、次はいつ迎えに来てくれるのかカレンダーを使って話してもらい、本人と一緒に親にシールを貼ってもらう。

(7) - 2 家庭でもカレンダー・ボードを使用していますか？

学園と同じカレンダーを準備してもらい、いつ帰園するのか、次回はいつ迎えに行くのか？を家庭でも話してもらうようにする。また、一日の流れも「お昼食べて、外出だよ」「今日は行かないよ」等、本人が楽しみに待っているオプションの予定を認知してもらうようにする。

(7) - 3 本人の望む帰省の形を伝え、それが実行されていますか？

今までは本人の想いを伝えても、なかなか実現できなかった。今では家庭のほうからオプションを設定してくれる事が多い。カレンダーや一日のボードの使用も含め、本人がしたい帰省の形を予め相談し、彼が何を今回の帰省期間に望んでいるかを家庭に連絡し、相談・実行してもらう。

(7) - 4 家庭での職員との連絡はできていますか？

帰省中の様子、学園での様子は帰省ノートにて連絡を取るようになる。

(7) - 5 帰省時には3人で過ごしたいと思っていることを知っていますか？

父は仕事をしているため、本人が帰省しても仕事でいない時があったが、本人の思いを知って、帰省中には仕事を休んでくれたり、仕事が休みの時に帰省するように計画している。また、仕事の場合でもカレンダーに掲示し、説明することで本人も理解するようになった。

(7) - 5 スケジュールボードは使用していますか？

本人に一日の過ごし方をカードを用いて、順序だてて説明することが大切です。

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日